

第20号

聖 霊 病 院 だ よ り



理事長よりご挨拶 森山 勝文

この6月から理事長となりました者です。本業は、カトリック平針教会の主任司祭をしていますが、もう一つ違った分野の役を仰せつかりました。違ったといっても、実は私には「本業の中の仕事・使命」ととらえています。「愛と奉仕」はこの病院だけのものではなく、今の日本の社会に最も必要な「視点」だと思います。それは、カトリック教会が目指すものでもあります。医療を通して、今の世界に欠けている、個人にも欠けている「愛と奉仕」がどのようなものか追及していけたらと思います。

当院の理念

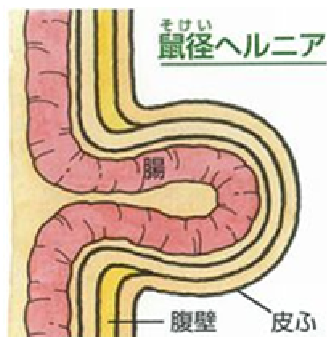
「愛と奉仕」

地域医療を通して、
キリストの愛をもって
人びとに奉仕します。

当院の基本方針

- ・患者さん中心の思いやりのある医療を行います。
- ・人権尊重に基づいて患者さんの価値観に配慮した全人的医療に努めます。
- ・医療人として資質向上に努め、良質で安全な医療を実践し、信頼される病院をめざします。
- ・地域医療連携を推進し、地域の方々の医療と福祉の向上に貢献します。
- ・カトリック医療施設として、いのちの始まりと終わりを大切にします。

成人鼠径部ヘルニア(脱腸)について



えぐち たけひこ
外科部長 江口 武彦

鼠径部にできるヘルニアについて概説します。
ヘルニアとは、本来あるべき所から膨隆するものをいいますが、鼠径部において腹壁から腹腔内容物が脱出するものを総じて鼠径部ヘルニアといいます。

成人においては鼠径ヘルニアが多数を占め、一部に大腿ヘルニアがありますが、今回は鼠径ヘルニアについてお話しします。

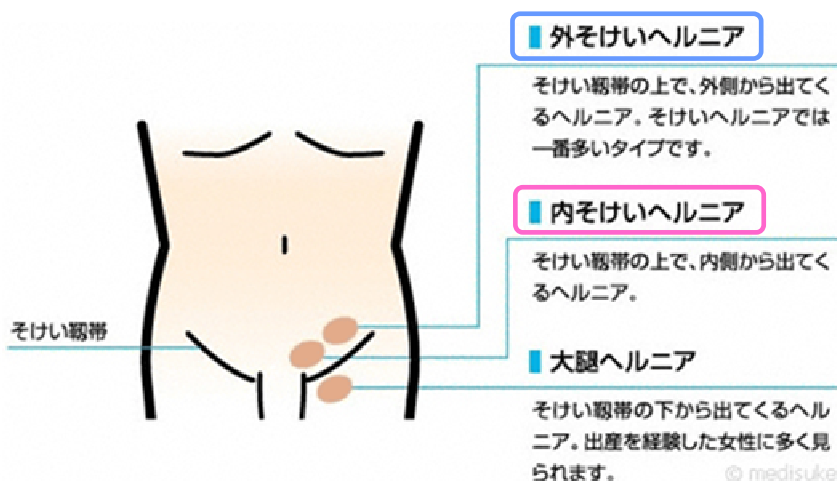
鼠径ヘルニアは、内鼠径ヘルニアと外鼠径ヘルニアとに分かれていますが、自覚する症状や治療内容には大きな違いはありません。多くは後天的なものであり腹壁を支える筋の脆弱化に伴う腹膜の進展と内容物の脱出とされています。

治療としては、ヘルニア囊の処理とともに脆弱化した筋の補強が重要とされています。筋補強として非吸収性のメッシュを用いた緊張のかからない方法が主流となっていますが、従来法として異物を使用しないで筋そのものの縫合で補強するやり方もあります。アプローチの方法としては、鼠径部を約5cm切開して行う方法と、腹腔鏡を用いて腹腔内から壁を補強する方法とがあります。

鼠径部ヘルニアは、ヘルニア囊（腹膜）の進展に伴うものであり、脱出する内容物が少なければ膨隆した腫瘍は小さいですし、脱出する穴が大きく内容部が多くなれば腫瘍は大きくなります。

悪性新生物とは全く異なる良性疾患であり、手術の適応も腫瘍の大きさなどではなく自覚症状などから考えていきます。緊急性のある疾患とは言えませんが、脱出した内容物が戻らなくなる、嵌頓(かんとん)という状況になると、極めて大きな疼痛とともに内容物の壊死といったことが起こるため、多くの場合緊急手術の適応となります。

鼠径ヘルニアは良性疾患であり、放置しても問題のない疾患であり嵌頓が無い状態では緊急性もありません。手術となるとある一定のリスクが生じてくるものですので、自身の健康状態や自覚症状など総合的に考慮して、慎重に治療の選択をするべきだと思います。心配でしたら、一度外科を受診して相談して下さい。



赴任のご挨拶



もいやま かつふみ

理事長 森山 勝文 (神言会会員 カトリック司祭)

聖霊病院が目指しているもの



七十年前の終戦直後、当時のニーズに応じて、「愛と奉仕」をモットーに誕生したカトリックの視点を持つ聖霊病院は、今も社会のニーズが何かを追求しながら、人に役立つように努力してきました。創設当時から設置団体である「聖霊奉侍布教修道女会（聖霊会）」の会員が当法人の理事長になり、発展してきましたが、このたび理事長職を聖霊会の会員でない私が引き受けることになりました。

私は聖霊奉侍布教修道女会の創立者を同じくする神言修道会（神言会）の会員で、カトリック司祭です。いわば兄弟姉妹会（創立者が同じなので）にあたる聖霊奉侍布教修道女会の事業に関しては、常に意識し、関心を持って見つめていました。60年以上前から、聖霊病院の前を通り、南山中学高校大学に通学して眺めていた病院が徐々に発展する姿を眺めながら、頼もしくも思いました。しかし、カトリック司祭として世の中の事情を考えながら教会活動をしていた私の目から見て、近年の社会事情の中で、カトリック病院としてその使命を果たしていくためには聖霊奉侍布教修道女会の会員だけでは難しくなっていることは想像できました。昨年の後半から相談があり、本年から社会福祉法人聖霊会の理事になり、理事会での議論に参加しながら6月の理事会で推挙され、6月22日をもって理事長に就任することになりました。

社会福祉事業に本格的に関わることは初めてですが、「カトリック事業の存在意義」については、カトリック司祭としての使命からも重要性を認識しているつもりです。東海地域に唯一のカトリック病院としての使命は特別な意味があると思います。この特別な意味を聖霊病院に関わるすべての人と共に追究していきたいと思っています。

「愛と奉仕」というモットーは深化していくものと思います。70年前の終戦直後の何も無い社会では「愛と奉仕」という精神は設置団体の認識として明確でしたが、豊かになった今日では、さらに深化していかなければならないと思います。それは「人間の尊さを堅持する病院」を目指すことと表現できます。物質的に豊かになり、高度に発達した社会の中で、忘れられがちな「神の似姿としてつくられた人間」と「その尊いものに関わる」という聖霊病院の認識は東海地域唯一のカトリック病院としての役割と自認し、誇りに思っています。

キリストの教えを伝えることに奔走した聖パウロは、その姿勢を「すべてを吟味し、良いものを保て」(put all things to the test, keep what is good) (1テサロニケ5:21)という言葉で表現しました。私たちもこの姿勢に学びながら、「人々への幸せ」を追求していきたいと思っています。

なかがわ あきひこ

整形外科医 中川 明彦



前在籍時は外傷の二次救急、主に高齢者の骨折治療に重点をおき、平成24、25年度に市内で大腿骨近位部骨折治療の実績1位になりました。この流れを汲み、今年7月にセンターが設立されました。設立と共にみなさんとの positive な業務の創意でなお一層この分野で活力ある仕事をと考えています。どうぞよろしくお願いします。

みやぎ ちはる

小児科医 宮城 千晴



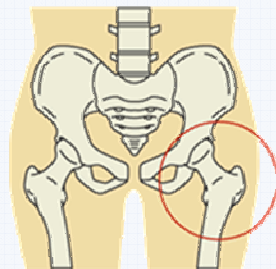
6月より勤務させていただくことになった宮城千晴です。子供たちのために頑張ります。よろしくお願いします。

大腿骨近位部骨折センターについて



なかがわ あきひこ
第2整形外科部長 中川 明彦

聖霊病院は、2015年7月1日より大腿骨近位部骨折センターを開設しました。整形外科では2007年より外傷疾患の二次救急医療に尽力し、地域の医療機関との連携を拡充してきました。外傷疾患の中で最も多いのは高齢者で多く発症する大腿骨近位部骨折です。大腿骨近位部骨折に関しては愛知県下有数の治療実績を誇っています。また、手術件数のみならず患者さんや連携医療機関から手術後の回復において高い評価を頂いています。それは高齢者であってもより高いQOLへの回復が得られるように、手術の工夫や多職種間の連携強化から成し得たものです。



今後も当地域では高齢化社会に伴う大腿骨近位部骨折は増加すると予想されます。多くの高齢者の骨折後の健康寿命を延ばし豊かな高齢化社会を目指すために、当センターはより良い医療を提供していく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

催し物・教室・講座

安産教室

予

*経陰分娩クラス

日 時: 第1~3土曜日 10:00~12:00

マタニティピクス

予

日 時: 毎週木曜日 14:00~16:00

マタニティヨガ

予

日 時: 毎週月曜日 14:00~16:00

おっぱい教室

予

日 時: 月2回(第2・3土曜日)

14:30~16:00

母親教室

予

日 時: 第1回目 第1水曜日 14:00~16:00

第2回目 第4火曜日 14:00~16:00

離乳食教室

予

★対象者: 前期(4ヶ月~6ヶ月のお子様)

日 時: 毎月第1月曜日 14:00~15:30

病院ミサ

日 時: 毎月第1金曜日

17:15~

予 は予約が必要な講座です。開催場所・持ち物等については病院ホームページまたは窓口でご確認ください。

病院へのアクセス

地下鉄

地下鉄鶴舞線「いりなか」下車1番出口より右へ徒歩2分

市バス

- (1) 栄バスターミナルから「栄18系統」妙見町ゆき「枳中」下車徒歩1分
- (2) 千種駅から「八事12系統」島田一ツ山ゆき「枳中」下車徒歩1分

高速道路

- (1) 東名高速道路名古屋インターから約20分
- (2) 名古屋高速道路吹上インターから約10分

外来診療受付時間

初 診・・・8時30分~11時まで

再 診・・・8時~11時30分まで

診療開始時刻・・・9時 ※診療科によっては午後の診療を行っております。

電話による健診予約受付時間

平日(月~金)・・・10時~16時

土曜日・・・10時~12時



聖霊病院 〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56番地

TEL (052) 832-1181 ・FAX (052) 832-3744 HP: www.seirei-hospital.org MAIL: seirei@seirei-hospital.org